

津大豆ニュース 令和3年産作柄報告版

令和4年3月14日

津地域農業改良普及センター

TEL:059-223-5103

1 概要

(1) 生育経過（7月下旬中心に播種され、昨年より生育量は確保できた）

播種作業は、一部で6月下旬に行われたところがありましたが、ほとんどは梅雨明け後の7月下旬から8月初めにかけてとなりました。昨年度は梅雨が長引いた影響で、多くのところが8月上中旬の播種となったのと比較すると早い時期に播種することができました。出芽、苗立は全体には良好でしたが、6月末播種のところでは7月初めの大雨で出芽不良となったところがありました。

8月中旬に降雨が多く、中耕培土は8月下旬の限られた日にしか行うことができませんでした。適期に作業できたところでは、生育量を確保することができました。開花は7月下旬播きで9月上旬となりました。落葉は11月初めから始まり、成熟期は11月下旬頃となりました。

(2) 収量・品質（昨年度よりは増収したが依然低いレベル）

7月下旬までに播種されたところでは、節数、分枝数がますます確保され、着莢数がここ数年では比較的多くなりました。収量は、栽培管理や栽培条件による生産者間での差が大きく、昨年度より30kg/10a以上増収した生産者がある半面、昨年度並みの低収であった生産者もありました。管内の平均単収は85kg/10a(昨年度60kg/10a)と依然として収量レベルは低いものの、過去5年と比較すると多い年となりました。品質面ではカメムシによる被害粒等が昨年度よりは少なく、1等比率は47%と昨年の34%より高くなりました。

(3) 病害虫（吸汁性カメムシ類が昨年に続き多発）

ハスモンヨトウによる白変葉が散見されましたが、多発したほ場はありませんでした。一方、カメムシ類の発生が昨年に続き目立ちましたが、適期に防除されたところでは被害を抑えることができました。しかし、防除が不十分なところでは減収や品質低下の要因となりました。

2 次作以降の対策

(1) 適期播種

フクユタカの播種適期は7月上中旬です。早めの準備を心がけて、適期に播種作業を行いましょ。麦収穫後、すみやかに明渠の修繕を行い、雨水が停滞しないよう排水対策に努めましょ。近年、7月に雨が続いて適期に播種ができないことが多いため、少し早めの6月下旬でも播種が可能であれば作業を開始ましょ。

(2) 播き遅れ対策

播種時期が7月下旬以降となる場合は、播種量を2割程度増やましょ。条間を40cm程度の狭畦にして播くか、株間をできるだけ狭くして播種量を増やましょ。

注意：狭畦播種すると中耕培土ができないため、除草剤での雑草防除が主となります。

播種後の土壌処理剤と雑草発生後の茎葉処理剤により防除を徹底ましょ。

(3) 土壌診断、土づくり

土壌診断を播種前（できれば麦立毛中）に実施し、酸度矯正や不足する養分を補うため、土壌改良材等を施用ましょ。

また、麦稈の鋤込みによる窒素飢餓を回避するため、石灰窒素を10a当たり10～15kg施用すると有効です。

(4) 病虫害対策

ミナミアオカメムシ等の吸汁性カメムシ類の発生が増加しています。吸汁性カメムシ類は大豆の子実を吸汁し、未熟粒の発生や不稔莢等の原因となります。防除は開花後20日(莢伸長期)と開花後40日(子実肥大中期)の2回実施ましょ。(7月上中旬に播種したところでは9月中旬と10月上旬、7月下旬播種のところでは9月下旬と10月中旬頃が目安)

(5) 中耕培土

中耕培土作業の有無が大豆の生育に影響します。土壌の通気性を良くし、根粒の着生を促すとともに雑草防除の効果もあります。狭畦栽培の場合を除いて、播種後20日から40日位の間1～2回実施ましょ。

(6) 雑草管理

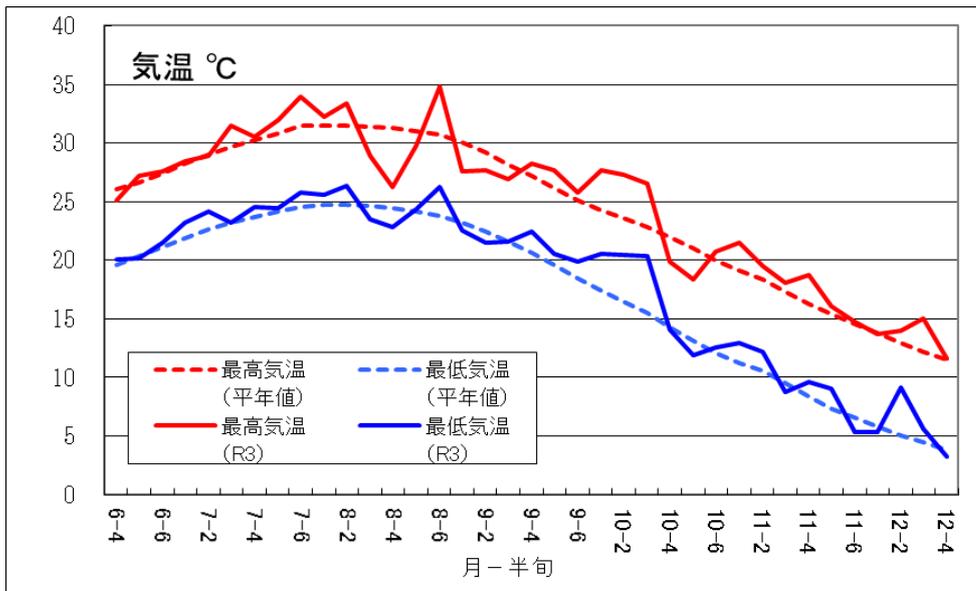
帰化アサガオ類、ホオズキ類等の強害雑草の発生が一部ほ場で見うけられます。茎葉処理除草剤の適期散布や中耕により、雑草の発生・生育を抑えま

しょう。また、生育ステージ後半まで残ってしまった雑草については、収穫までに手で抜き取り、抜き取った雑草は、畔やほ場内に放置せず処分しましょう。

3 参考資料

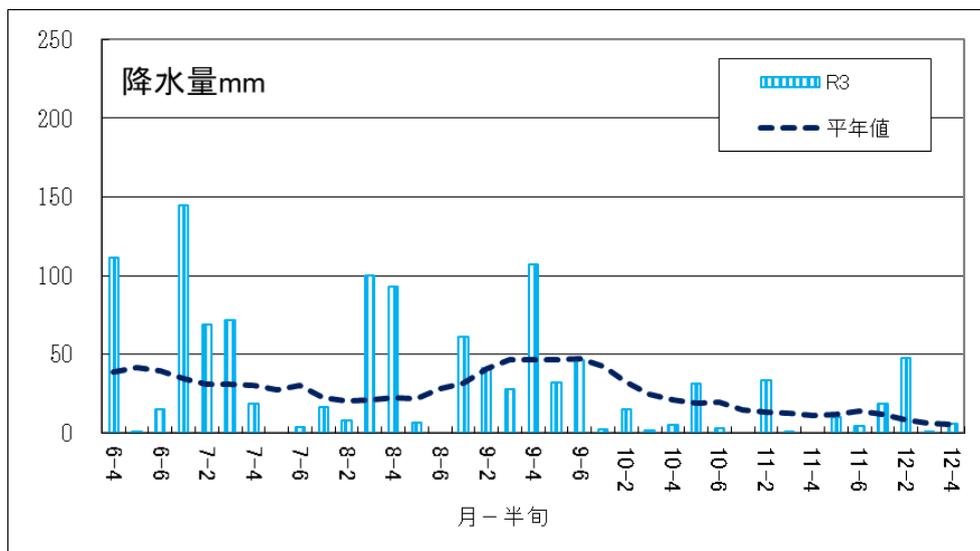
(1) 気温

8月中旬は平年より気温が低い日が続きましたが、9月中旬から10月半ばまで気温が高く、秋の訪れは遅くなりました。



(2) 降水量

梅雨末期の7月上中旬は降水量が多く、梅雨明け以降、しばらく好天が続いたため7月下旬は降水量が少なくなりました。8月中旬と9月中旬にまとまった量の雨が降りました。



(3) 日照時間

梅雨明け後の7月下旬から8月上旬は、晴天の日が多く、日照時間が多くなりました。8月中旬は雨が続いて日照時間がかなり少なくなりましたが、生育後半の9月下旬以降は平年並み～やや多い日照時間となりました。

